

災 害対応力の向上へ 決意新たに

1月11日 市消防出初式



豊科公民館ホールを主会場に市消防出初式が開かれ、約300人の団員が参加しました。式典では功労のある団員や無火災の分団に表彰が行われ、高橋稔団長は昨年全国で発生した大規模火災や地震に触れ「共助の精神で関係機関と連携し、各種災害対応力の向上を図る」と決意を述べました。また、式典後に行われた分列行進では沿道から多く人が観覧。近所に住む中沢祐加さん(30)は「消防車が好きで毎年見に来ている。いい写真が撮れた」と笑みを浮かべていました。

申 焼きの繭玉で 無病息災を願う

1月10日 南小倉区三九郎



小正月に無病息災や豊作を願う三九郎が各地区で行われました。南小倉区では育成会や子どもたちが朝から松集めを行い、やぐらを組み立てました。しかし、強風により火入れは翌週に延期。公民館の中で持ち寄った繭玉を串に刺してあぶって食べ、1年間の健康を願いました。育成会の大蔵りえこさん(39)は「外で燃やせなかったのは残念だったが繭玉パーティーを楽しんでもらえて良かった」とあんどの笑顔を見せてくれました。

一 画に全集中 筆に思いを込めて

1月5日 三郷公民館 書き初め教室



書き初め教室が三郷公民館で開かれ、小学3～6年生の10人が参加しました。講師の片寄蒼穹さんから書き方のコツを学んだ子どもたちは真剣な表情で書き初めに挑戦。苦戦していた参加者も「字の角度や幅を意識して書いてみて」と助言を受けると、伸びやかな筆遣いで作品を書き上げていました。参加した中村百花さん(9・三郷明盛)は「止めるところが難しかったけど、冬休みの宿題が上手に書けてよかった」と話し、出来映えに満足していました。

新 年のスタート 軽快な走り

1月1日 新春さわやか元旦マラソン



元旦に拾ヶ堰のランニングコースを走る恒例のマラソン大会が開かれました。参加した348人は念入りに準備体操をして2km・3km・5kmのコースに分かれてスタート。新年の澄んだ空気を感じながらコースを駆け抜け、応援に訪れた家族らが声援を送っていました。高校で陸上に打ち込んでいる小平百葉さん(16・堀金烏川)は「元旦マラソンは中学時代の部活の仲間と会える貴重な時間。年の初めに気持ちよく走れてうれしい」と旧友との再会を楽しんでいました。

引 き合う先には福来たる 地域に息づく伝統

1月10日～12日 成相区・新田区福俵曳き

福俵を引いて地域に福を届ける市無形民俗文化財の伝統行事・福俵曳きが豊科地域の成相区と新田区で行われました。福俵曳き前日の宵祭りでは、みこしを担いだ若衆が区内の店舗などを巡って福を奉納。11日に成相区、12日に新田区で行われた福俵曳きでは、地元の皆さんが心を込めて作った福俵を若衆が「わっしょい」と威勢のいい声で曳き回しました。福俵が最後に到着した奉納先には大勢の人が集まり、祭りの見せ場である綱引き合戦を見守っていました。

成相区長の寺田一樹さん(37)は「地域の皆さんが幸せに過ごせる1年になるとうれしい」と祭りの開催を喜び、福俵の奉納先で祭りばやしを演奏した新田区の藤森柚羽さん(15)は「緊張したけれど良い音を出せた。高校生になっても参加したい」と話してくれました。



お 宝エピソードに 笑顔あふれて

12月21日 開運なんでも鑑定団 in 安曇野

テレビ番組・開運!なんでも鑑定団in安曇野の公開収録が豊科公民館で行われました。274通の応募から選ばれた5人の鑑定依頼人が登壇し、司会を務める原口あきまささんとお宝にまつわるエピソードを披露。約1500通の応募から選ばれた600人の観覧者で満席となった会場を軽快なトークで沸かせていました。

第1回の放送から番組を視聴しているという依頼人の吉野信彦さん(43・麻績村)は「大好きな先生に直接鑑定してほしいと応募した。出演が決まったときはうれしくて舞い上がった」と興奮冷めやらぬ表情で話してくれました。お宝にまつわるエピソードや鑑定結果は3月15日放送予定の番組をご覧ください。

